

(株)TBS サービス  
川上孝裕 様

お世話になります。

この度は『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』の学校での上映会をさせていただき、本当にありがとうございます。

おかげさまで無事に上映会を済ませることができました。本当にありがとうございます。心から感謝いたします。

本校は2015年に喜多川泰氏に校歌を作詞していただき、7月に完成記念の講演会をしていただきました。各クラスにも喜多川先生の著作物を5種類くらいずつ置いてある関係上、『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』の本も読んでいる生徒も多いので、とても楽しみにしていました。

遅くなりましたが、3年生までの選んだ感想と共にDVDを返却させていただきます。ご参考にしていただければありがたいです。生徒の感想も、「とても良かった」というのが多くて、学校としても上映会をさせていただいて本当に良かったと思いました。

川上さんの熱意によってこの映画が完成し、そのおかげで生徒が喜多川作品に巡り合って、新たな一歩を踏み出す「勇気」が出たと思います。本当にありがとうございます。

※参考までに今治明德中学校の校歌（歌詞）を同封させていただきます。

川上さんの今後のご活躍をお祈りして、簡単ではございますが御礼とさせていただきます。

今治明德中学校  
教頭 野住幹生

# 今治明德中学校 校歌

作詞 喜多川 泰

作曲 藤原 大征

一、  
春風 薫る学舎で  
孤独と出会った朝には  
笑顔でそれを迎えよう  
試練に強くなれるはず  
ああ その強さこそ  
ここ、今治明德で手にした大きな翼  
風のように爽やかに生きる

二、  
潮風 薫る学舎で  
悩みと出会った朝には  
笑顔でそれを迎えよう  
誰かに優しくなれるはず  
ああ その優しさが  
ここ、今治明德で育てた私の宝  
海のように大らかに生きる

三、  
初風 薫る学舎で  
不安と出会った朝には  
笑顔でそれを迎えよう  
未来に希望がもてるはず  
ああ その希望こそ  
ここ、今治明德で生まれた僕たちの夢  
太陽のように輝いて生きる

心をこめて  
♩ = 112~120  
*mp*

1 通 2 番 3 番

は は は か か か げ げ げ か か か お お お る る る ま ま ま な な な び び び や や や で で で こ こ こ ど ど ど く く く と と と  
は は は る る る げ げ げ か か か お お お る る る ま ま ま な な な び び び や や や で で で こ こ こ ど ど ど く く く と と と  
は は は る る る げ げ げ か か か お お お る る る ま ま ま な な な び び び や や や で で で こ こ こ ど ど ど く く く と と と

*mf*

で で で あ あ あ 一 一 一 つ つ つ た た た あ あ あ し し し た た た に に に は は は え え え が が が お お お で で で そ そ そ れ れ れ を を を  
で で で あ あ あ 一 一 一 つ つ つ た た た あ あ あ し し し た た た に に に は は は え え え が が が お お お で で で そ そ そ れ れ れ を を を

(※2番・3番は下を歌う)

*f*

む む む か か か え え え よ よ よ う う う し し し れ れ れ ん か い に に に 一 や き つ さ ほ よ よ よ く く く が が が な な な れ れ れ る る る は は は す す す あ あ あ  
む む む か か か え え え よ よ よ う う う し し し れ れ れ ん か い に に に 一 や き つ さ ほ よ よ よ く く く が が が な な な れ れ れ る る る は は は す す す あ あ あ

あ あ あ そ そ そ の の の つ や き よ さ ほ さ し う こ き こ そ が そ こ こ こ い い い ま ま ま ば ば ば り り り め め め い い い と と と く く く で で で  
あ あ あ そ そ そ の の の つ や き よ さ ほ さ し う こ き こ そ が そ こ こ こ い い い ま ま ま ば ば ば り り り め め め い い い と と と く く く で で で

*mf*

て て て に に に し て し た た た お わ ぼ お た く き し た な の ち つ た の ば か ゆ さ ら め  
て て て に に に し て し た た た お わ ぼ お た く き し た な の ち つ た の ば か ゆ さ ら め

(※3番は下を歌う)

*f*

か う た ざ み よ の の う の よ よ よ う う う に に に さ お か わ お が や ら や か か い に に て い い い き き き る る る  
か う た ざ み よ の の う の よ よ よ う う う に に に さ お か わ お が や ら や か か い に に て い い い き き き る る る

「また必ず会おう」の映画を見て

1組

「また必ず会おう」のあらすじは、17歳の少年が  
うそをついて熊本から一人で「テイス」=一泊して、  
飛行機に乗りおくれ、金がいなくなり、様々な  
人と出会って行くストーリーです。

僕が心に残った部分があります。それは  
トラックのおじさんが和也に自分の眼鏡をわ  
けさせたところです。おじさんが「他人の迷惑  
をかけた。世の中を見てると度数が合わない  
と聞いた。つまり、誰かの言うことをそのままにすると  
失敗するということです。僕はこのことから、何か  
疑問に思うことをまずは自分で考え、他人に頼らず  
に生活してきたいです。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

/ 組

僕は「また必ず会おう」の映画を見て、日本人の厳しさと優しさを知りました。

前にテレビでどこの国よりも日本人がトップクラスで優しいということを知りました。

この映画もそれと同じように会く人、会く人がものすごく優しい人で、自分も大人になったら、ああいう大人になりたいと思いました。

でも優しいだけではありません。会く人、会く人は厳しくもあります。テウトラに乗っていたおじさんもものすごく厳しかったです。でも厳しさとあつての優しいのですごくいいなと思いました。

僕はこの原作を読んでいないので読みたいと思います。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

組

僕は、もともと喜多川泰さんの本に興味があったので、今回のDVD鑑賞会を楽しみにしていました。今回の映画は、僕が今読みかけの「また必ず会おうとだれもがいった」でした。

この物語にでてきた登場人物ひとりひとりがとても厳しく、とても優しい人でした。そんな人に出会えた主人公のかずやが、かしょうやましくなりました。この旅はかずやにとって二度とできないおぼろしい経験になったと思います。僕も、こんな旅がしてみたいです。

僕は今回のことで、本で読むのもいいけど、映画でみるのは、もっといいと思いました。他の本も映画化されたらいいなと思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

組

私は人々との出会いと別れを通じて、東京から熊本を目指す香月和也に感動しました。なぜなら、旅の中で強くなっていく少年を感じたからです。そして、空港で和也に声をかけてくれた冒美の「今の君は、0点だよ。」という言葉にもとても深く考えさせられました。また、冒美の思いつきで言った「旅も、結果、主人公の中にある何かを主人公自身に感じさせることができたので、その点で考えると、冒美は、とても重要な人だと思います。和也は作中で、冒美や、3番目に出会った柳木に、いろいろ言われていたけれど、私だったら旅なんかせずにすぐ帰ると思います。でも、旅をやり通した和也には、もともとそういうウチがあったのではないかと思います。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

組

私は、小説で『また必ず会おう』とだれもがいった』  
を読みました。映画の「また必ず会おう」は、小説  
とは違、た迫力と人と出会うことの大切さが  
伝わってきました。この映画は、主人公の香月  
和也がたった1つのうそから、和也自身が  
大きく成長する旅に出ます。その旅の中で、  
たくさんの人と出会いそして学んでいきます。  
私が一番好きな場面は、和也がトラック  
運連手のおじさん対しての医者言葉に反論  
するところです。私も、これからたくさんの人と出  
会うと思いますが、この主人公の和也のように  
その人と出会ったことにより、少しでも成長できる  
ようにしたいと思います。そして、私自身も  
「また必ず会おう」と言いあえるような日々を  
送りたいと思います。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

組

私は今回の「また必ず会おうと誰かがいた。」は原作を見ていました。でも喜多川泰さんも言っていたように、映画では原作とはまた違う視点から見たり、感情にふれたりすることができました。私は主人公の香月和世に共感できる部分がたくさんありました。例えば、自分の居場所をつくるために嘘をついてしまったりすることです。仲間はずれにされたくなってしまう、嘘をついてほうときも正直あります。その他にも、私のこれから的人生に役に立つような言葉がたくさん出てきました。この映画は人々との出会いやつながりが改めて大切なことだと教えてくれたものだと思います。私もこれからたくさんの人に出会い、成長していくと思います。そしてもしそんな時に、自信をなくしたりしたら、この作品を思い出して前を向いて進んでいこうと思います。最後に、私たちが「またかな」の映画が見られるようにして下さったみなさんに感謝したいと思います。



# 「また必ず会おう」の映画を見て

(組)

九郎がルールでもしろうたてて、晶子？さんはお酒によて

デコンデコンでしたが、それでも節のとれた事を知っていました。自分が

思った、即行動！という人なみに思うなよ、と思いつながら見ました。

2番目の晶子？さんの夫の人は、とて気が弱そうで現実逃避

していました。でも、主人公の男の人が来て息子が、死んだことを、

うけとめたのでよかったです。自転車への乗っ取りにはびっくりしま

した。3番目のおじさん、ほんとに陽気なおじさんだと思っていました。

どこかかんにだけ、優しい人だと思いました。トラックのPに

こたつがあって、泊一泊には驚きました。その途中、漁夫さんのおじさん

はアヤロがもうご上乗人で、私公に仕事してくれた人です。

この時、<sup>3番目の</sup>おじさんが倒れたのにはがっかりしました。ものすごく元気だったので、

OOさんはかんとことをして、おじさんにも幸せとうにしているのはすごい

と思いました。そのおじさんの男の子、ほんとに可愛いわね、おじさん

お母さんの前で、お金をかたしたりね、優しい子だね、とおも

ました。それと、みんなの年齢がわかるね、「また必ず会おう」といったのは

みんなが主人公に思ったことと同じだからかな、と思いました。

うさぎがまた車でこんなにも素晴らしい事になつて、人生

にはこれがあつたかな、と思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

1組

私はこの映画を本で読んだことがありました。

その時、ページをめくるごとに感動をしました。

友達にちょっとそをついたことからはじめた旅でした。

その旅先で出会った人たちがとても温かく、厳し

かったです。けれど、この人たちは主人公の和也に

これからどのような人になってもらいたいかの意味が

こめられていると思います。私が心に残った人は、

やき下さんです。末期ガンということを知っていて

も、自分のやりたいことを精いっぱいやる、ほめる

かのようなものを感じました。和也が自宅へ帰る

まで、どのようにしたのかは映画では分からなかつ

たけれど、きっと東京での旅で出会った人々から教わ

たことを生かすのだと思います。私も映画を見て

学んだことを、これからのことに生かしたいです。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

日 月 年 月 日 時 分 秒

この映画は、本で読んだことがあったので、楽しみにしていま

した。本とはちがった内容でしたけれど、それはそれで

楽しかったです。「また必ず会おう」の本

は、最後、家に帰るのでしたが、映画は家に帰るま

でし、このように、映画と本では、ちがった内容が

あり、本を読んだ人でも、楽しみにしていたので、必ず

見ることを決ましました。みんな、「また必ず会おう、

と言っていて、みんなに好かれる性格でした。

この映画を見て、人に好かれる子は、とても不

ちがったことが分かりました。でも、この子とくことは、

悪いことはいませんでした。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

ほくはこの映画の小説を見ていますが結構前に見ていたのでも初めの方しか覚えていませんでした。そしてほくは小説の内容を実際に見たいと思っていたのでボランティアの人にも感謝しています。喜多川泰さんの小説はいつも学ぶことが多いので今は3冊ぐらい読んでいます。更にこの映画では小説よりもよく気持ちが伝わり心に響き、感動しました。

個性が豊かな人々たちですが、その人たちは全員話している中で教えてくれているところもすごいと思いました。特に「さよなら」とは言わずに「また必ず会おう」というところがこの作品の一番特徴があるところだと思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

今日の5、6時間目に明德中学校の校歌も  
つくってくれた喜多川泰さんの映画を見ました。

「また必ず会おう」という映画は、ぼくらの教室の後にも  
おがれている本を元につくられた映画です。

この映画を見て思ったことは、主人公の人と出会った  
人達全員が優しいということです。

主人公の羽根和やと出会った人達と別れる時に  
みんな「さようなら」とは言わず「また会おう」や「また必ず  
会おう」と言っていたのは、また会いた」という思いが  
おからだと思えました。

あと喜多川泰さんの本を読んだことがないので、少し読んで  
みようかなと思えました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

ほくは、「また必ず会おう」を見て、人との出会いは大事だろと思ひました。和也と会った人は全員、大事なことをおしえてあげていました。

この映画は、自分を見なおすためにいいと思ひました。トラックを運転している人は、か、こいい人だと思ひました。

自分がやりたいようになる生き方がか、こいいです。

晶美はこわくて、いやな人だったけれど、ほくの母と同じようでした。そして、和也は、全員に言われたことで進歩したと思ひます。しかし、和也がついたうそは、すく大きくことにつながったので、うそをついたらいけないと思ひました。最後は本とちかいと先生がいっていたので、本もよんでみたいです。そして、自分を考えなおしたいです。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2 組

僕は、この映画で、人との出会いの大切さを知りました。旅で出会う人一人一人が何か大切なことを教えてくれる。それは生き方であつたり礼儀であつたりと様々ですが、今まで自分に足りなかつたものを教えてくれます。デコトラのメガネの話はとても良いなと思ひました。「自分の主人は自分。」だから、嫌なことであれば、はっきりというのが正しいことなんだと分かりました。また原作とは違う映画だけの楽しみ方もいいなと思ひました。後半は、原作と映画だったら映画のほうが好きです。「また必ず会おう。」とだれもが言ったこの映画は最高でした。

僕は「また必ず会おう」の映画を見て、心に残ったことが3つあります。1つ目は、香月さんがあつしたうそをついたせいで東京で一人ぼっちになつてしまふけど田中さんの言葉で一人で家に帰ろうとする決断力です。僕なら絶対一人で帰らないと思つたからです。2つ目は、柳下さんの「自由」です。僕は「自由」についてあまり考えた事はなかつたけれど、「自由は自分の主が自分」という言葉にぐときて改めて「自由」について考えさせられました。

僕も柳下さんのように、人に足りていない何かを教えられる人になりたいです。3つ目は、香月さんが出会った人みんなが「また会おう」と言つていて、僕はそんな気持ちを持つ事で人とのつながりを大切にしているんだなと思ひました。

僕も、これからの人生の中での人との出会いと大切に生きていきたいです。



## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

僕は本で「また必ず会おう」を読んだことがあります。僕は、中学校に入ってから初めて読んだ本なので結構バツに残っています。最初は他人から注目を浴びたいということなどで、うそをついていたと知っていました。僕も、小学校のころにそういうことばっかりして、そのうそをばかやうとしてまたうそをついたことがあります。映画では、飛行機に乗り遅れてしまって帰れなくなって、飛行場のロビーで悩んでいたところを助けてもらった。自分は「そうとうた」と自覚せず泊めてもらう人たすけてやらせるということが、あまり前にならなくていいと聞いていると、部活が帰ってすぐ塾に行ったりして、家の手伝いをあまりできていないなと感じました。運んでくれたおじさんのおいはいろいろな家族のがみ合いで心を失ったおじさんでした。このような人は大変だと思いました。なか、その中で懸命に生きているその子を見て感動しました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

ほんの少しの嘘からどんどん大きくなっていった。

居候としての礼儀や自分の人生は自分で決める決断力を  
たくさんの人から教わった。空航で口だけでかわいそう

などといっている人ばかりの中で1人だけ行動

にすぐに移して困っている人を助けたのはとて

も良かったと思います。僕もそんなことができる

人間になりたいと思いました。僕も相手の

為にできる事を精一杯やりたいと思いました。

自分の人生の責任をちゃんと自分でやる自信はあるの

か?』という言葉が心に残りました。僕もど

んなことをおこなしても、自分の行動に責任

を持つようにしたいです。あとは「自分が頑

張ったぶんしか、人は幸せになることかできない、

という言葉も心に残りました。自分のことも考え

ずして相手のことも考えて行動することができ

る人間になりたいと思いました。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

ほくは教室の後ろにある本を言読んでいたのですが、少し内容がかわってました。ほくは今回の映画を見て、たくさん感じる事が有りましたが、一番心に残ったことは、この物語は「実際に自分がこのような状況になっても大丈夫だ」と思えた事です。居候にな、たゞ、まず人より先に行動すると、いう事や、相手にお礼を求めたいという事など、いろいろな事を学びました。他にほくが不思議に思った事は、会った人の誰もが「また会おう」と言ったことより、「さようなら」と言わなかったことです。

映画の前の予告で「しかし誰もさようならとは言わなかった」という言葉が、見ている間ずっと心に残ってました。世の中は、本当に優しい人がたくさんいるんだなと思いました。一番学んだ事は、この世で起る全ての出来事の原因は自分にあるということです。これは、喜田川政の他の作品の小晴日和などにも書いてあることで、相手に責任をおしつけず、自分が責任を持つことが大切だなと学びました。ほくは、生まれて今まで10作品くらいの映画を見ましたが、本当に今回の映画が一番感動しました。な、と恥ずかしいから涙はがまんしましたが、部屋で一人で見ていたおそく泣いてました。これから喜田川さんに教えてもらった事を忘れずに生きていこうと思いました。

ぼくは「また必ず会おう」の原作を見ていたので、  
どんなストーリーなんだろうと思っていたのですが、  
映画は原作とは違うところがたくさんありました。  
原作ではいろんな人と出会いがありますが、  
映画では数人の人で原作とは性格などがま  
たく違う人もいました。ぼくはどちらかといえ  
ば原作の方が好きですが、しかし映画も  
別の話として楽しめる内容で、とても  
おもしろいと思います。その映画から学ぶ  
ことがたくさんあり、とてもよい時間を過ごせ  
ました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

私がこの映画を見て印象に残った事は2つあります。

1つめは、「とてもこわいな」という事です。主人公の和也が「ソリで言った事を証明する為に、東京まで行くことになったからです。」

私も日常生活でうそをついてしまった事があります。その時はバシバシかひやひやしていました。その後もささいな悪感が残って、

うそをついた後、全然気持ちよくなりませんでした。和也も、作品の中で同じような事を言っていて、最後は親に正直に話していたので私もうそはつかず、正直に話した...と思いました。

2つ目は、テコトウの運轉手の柳下さんの「自由」の考えです。柳下さんの考え方は、

「自分の主が自分 = 自由だ」という事です。そういう考え方はした事がなかったけれど、すごく納得できました。

私はまた、この原作と似た本を読んだことがあるんですけど、本と映画では違うところがあるので、本のうすも長くなりました。和也がちゃんと家に

行くのか、これから家に帰るまでに他にどんな人と会えるのか、再び

会いに行くのか、が、知りたくなりました。また、本を読んでみたんです。

とあれ、映画で「副音」と字幕がついてはいるのも初めてでした。

しょうがないのある方の為に工夫して、可憐な...と思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

この「また必ず会おう」と誰もが言ったという話は、

喜為川泰さんが原作者で、それを映画にしたものを見ました。

内容は、香月和也が同級生に「東京は臭い」とウソを

かいたことがきっかけで、一人で東京へ行き、その旅で、たかさんの

人たりの出会う中で成長していくという話でした。

この17歳の少年が、旅先で「自分と向き合い、成長していく

姿を見て「出会う」というのは本当に大切なことなんだなと、実感

しました。人との「出会い」を大切にし、その「出会い」を生かして

ていけたらなと思いました。そして、旅で出会った人は、みな

別れの時、「さようなら」とは言わず、「また会おう」と言っている

のは、本当に会いたいから、言っているのだと思いました。「さようなら」

と言えなくても「また会おう」とは、言えはいいと知り、それを自分

より年下の男の子に教えてあげることでまた和也は成長して

いきました。人は、考えを改める、変われる人だな、と思いました。

本と、その映画の内容は、ラストが少し違うそうなので、原作も

見てみたいと思います。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

私は、「また必ず会おう」の言葉は、誰もなしあわせにしてくれる魔法の言葉だ"と思っはあ。小さな嘘がきっかけで一人旅をある事になった少年。偶然の出会いの中で誰もか言た。また、必ず会おう。嘘つきで、プライドが高い、本気になるのはカッコ悪いと思っていた少年の人生を考えなおろきっかけとなった。最悪の出来事を人間として大きくなるチャンスと受けとめた少年のように、マイナスな出来事もプラスに考えれば、すべて自分のためになること。生きるという事は、かんたんな事ではなく、誰もかやる事の出来ない大きなしれんである事。私は、この映画を通し、人生について考え、生きる事の大セカサを学んだ。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

私はこの映画を見、おたがいに希望をもらったんじゃないかと思いました。まず私はなぜ友人にうそばかりついたり「何となく」あませとした主人公が、助けくれた人々には、素直に話すことかできたのかを考えました。これは相手が信頼できる存在だ、だからだ"と思います。助けくれた人々はみんないろいろな心の傷を負っていました。その人々がどんなに大きな傷を負ったとしても、前を向いて生きている事に主人公は、自分も変わるうと思っただんじゃないでしょうか。この助けくれた人々が前を向けたのは主人公のおかげだ"と思います。少しづつ自分を変えていこうとしている主人公に希望をもらったんじゃないでしょうか。そして最後に私は、なぜ「また必ず会おう」と誰もがいったのか、疑問でした。だけど、これは見終った分にはおなげがしました。なぜみんな同じことを言ったのか、それは「主人公とまた必ず会う」というこれからの目標、希望を持つこと、これぞ「この人生、前を向いて歩いていこう」と思ったからだ"と思います。それからどんなことがあっても、あとで主人公と会えれば、「必ず会う」というものが、人生の支えの一つになっただけがしました。 →裏



## 「また必ず会おう」の映画を見て

2 組

私は、この映画を見て、「人と人とのつながり」がとても大切だとい  
うことがわかりました。みんな厳しいところもあ、たけと優しいところもあ  
って、初対面の和也にほめたり怒、たりすることができる人はすばらしいと  
思います。田中晶美さんなんか、とても大事なことも教えていました。  
私も「迷子にな、たから親、にお金をもら、てスーッと帰るより、自力でなんと  
かして帰、た方が一生残るいい思い出になる」という言葉に感動しまし  
た。楽するよりもつらいこと苦しいことを成し遂、げた方が得られるも  
のは大きいと思います。和也にとって、この旅はいろいろな人たちと出会、て  
いろいろなことを教えてもら、た大切な思い出となったと思います。

そして、この映画を見て学んだことが1つあります。それは、「また必ず会  
おう」という別れ際の言葉です。どんなに厳しく接していてもみんなが  
そうやって言える環境はいいなと思いました。「さよなら」よりも「また会おう  
の方がこの先会えなくてもどこかで会えるかもしれない」と思えるはず  
です。この言葉は「人と人をつなぐ」おまじないのような言葉だと感じました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

私はこの映画を見て、優しさに感動しました。主人公の和也によくしてくれた人は、自分も大変なのに、和也に大事なことを教えてくれたからです。一番大事なものはお金ではないし、お金なんて関係ないんだと思います。家族についても考えさせられました。私には、普通に帰る家があり、そこには家族がいるけれど、それが普通ではないこともあるんだなと気づきました。自分の居場所があるっていい事だなと思いました。今の自分の状況に感謝しています。

この映画では、人との関わりを大事にされているなと思いました。初めに、女の人が、一番大事なことは、人のために先に動くことと言っていました。

トラックの運転手の柳下さんは、自由について、言っていました。これには驚きました。自由とは、自分が行かなくてもいい時、だと思っていました。しかし、自分が「主人」のとき、と知ってるほど、と思いました。私は、一番大事なものは、人の事を思うことだ、と思いました。だれかの事を考えて行動する、それが生み出す温かさにも、バにぐっとくもがありました。もう、二度と会えないかもしれない人に、「さようなら、ではなく、「また必ず会おう」と言うことにも、優しさが出ているな、と思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

私はこの映画を見て出会いの大切さを知ることができました。そして自分の行いや人への接し方を考えれると思います。喜多川さんの本には、生きるためのヒントが書かれていて、思っていて、この映画には「無理だ」と思ってもやってみる」というヒントが書かれていると思います。それは、自分の判断に責任をもつことになり、生きる力がみかかれています。この映画は目の不自由な人のための副音声や耳の不自由な人のための字幕がついていて、普通に見るのにも、物語の流れがわかりやすかったです。私はまだこの本を読んだことはないけど、映画と流れがちがうらしいので読んでみたいですね。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

この1人の男学生は一人一人の人に会うたびに話を  
かけ死して「また必ず会おう」と言われていました。私も  
電車の中でたまたまたあたって「めんたいさし」、「ちよて  
死すいません」このように会話をすることで仲良くなる。  
た人もいます。このように感じに人間、と簡単に人と人  
とで仲良くなるんだと思いました。私は卒業式(6  
年生)の日に泣きながらたくさんの人に「またいつか会お  
ね」と言われました。その時私は皆に信頼されていた  
と気がきました。そして死んだら私を思っているのだ  
と改めて嬉しくなりました。そのようにこの男学生も「また必  
ず会おう」と言われることで皆に信頼された嬉しい  
という気持ちになったと思います。

私は中学生ばかり小学校の友達とあまり会うことは  
なくなりました。でも友達からのメッセージを見るたびに  
「また必ず会おうね」と書いています。中学卒業のときは  
何人の人に「また必ず会おうね」と言われるでしょう。この  
映画を見て私もたくさん「いつか会おうね」と言われる人  
になりたいと思いました。今日見た映画はとてもおもしろく、  
自分を見つめなおせる映画でした。

「また必ず会おう」の映画を見て

2 組

私は、「また必ず会おう」の映画を見て、人との出会いの大切さを学びました。

主人公は、一番初めに「居候する人のありがたさ」というのを空港に勤めている女の人から教えてもらいました。私は、この「居候する人のありがたさ」を教えてもらったことで、この旅を続けられたきっかけになったと思います。

また、楽をしてする旅よりも、たくさんの人に出会って苦勞する旅のほうがだんぜん楽しい旅になると思いました。時には、辛いときやさびしくなるときもあると思うけど、それだけ一生心に残るんじゃないかなと思います。

私もこれから、たくさんの人と出会うと思います。その一人一人と出会うことを大切にしていきたいです。そして、その思い出を一生心に残る、自分の中の宝物にしていきたいです。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

了組

今日 映画を見て、人間の 暖かさを知りました。

田中さん、柳下さんは、和也にいろいろな時の喜びのこと、

人生の楽しみなど、色々なことを教えました。でもその中には相手に文句を言われる、

など、今の若い人たちのために一番大事なものだと思います。田中さんに

和也が家に泊めてもらった時に、やれと言われてからするのでは

意味がなく、自分から手伝いをしないとダメなというのを

教えてもらいました。柳下さんは、あえて和也をきびしくして、

自分で考えることが大切だということを教えてくれました。

和也は熊本に戻って人生が変わったと思います。

僕も人に言われてやるのではなく、自分で考えて動くようになりたいです。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

僕は「また必ず会おう」と誰かが言ったのを見て、人と出会うことの大切さ、人としてのあるべき行動を学ぶことができた。人は他人の家に居候するとき、何か人の役に立つことをしなければいけない。しかしその見返りを、きかずにはいけません。何か、したのたが、何かをしてくれという。かたがたは、捨てたほうか、いいと思いました。港で、バイトをしても、ときも、人の温かみがおかしました。人にお世話になったお返しとして、人の役に立つことをしなければいけない。ということをおかしました。この映画は、人が喜ぶことを、あかたり言わなくても、自主的に行動にうつすことの大切さを、おしえてくれました。他人と出会うことの、おはしや大切さが、おかしました。これは、人間の鏡にみえるような行動を、しなければ、ならない、と思いました。

「また必ず会おう」の映画を見て

3組

「また必ず会おう」の映画を見てほくは主人公が旅先でいろいろな人に会って別れる時に、主人公も旅先で会った人達も全員「さようなら」ではなく、「また必ず会おう」や「また会おうや」と言っている所に感動しました。また旅先で出会った人達はみんな親切で特に柳下さんの場面は感動しました。柳下さんが途中で倒れガンという事が分かった時の主人公の行動力がすごいと思いました。



# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

ぼくは今日見た映画「また必ず会おう」を見て、一番にビ  
にびいたのは、全体に「よければとは言わずに「また必ず会  
おう」と言って、これでまたおわかれじゃないということがうたわてき  
ました。旅で出会った人はみんな厳しい人ばかりで、最  
後はみんな優しい人なんだなとわかりました。ぼくは今ま  
で、あまりこういう旅をしたことないけれど、「よければ」と  
いう言葉をあまりにも使すぎているので、たぶん最後  
にぶるたろうという人にも、「また必ず会いましょう」と言って  
おわかれしたほうが元気がでるので、その言葉を使  
ていきたいと思います。とてもためになる映画で  
よかったです。いませ。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

この映画を見て、人としてのつながりの良さや、各地で会う人の優しさや、ぬくもりを感じる事ができました。多少の紜々でも大切にするという、旅先で会う人々の一つ一つの言葉が人生の針路を示したり、黒闇を照らす光のような言葉だと思いました。

人生の中の今を大切に生きていこうという心がけを持った人々の中で主人公が変わっていく様子が分かり、人に会うという事で、自分の生き方が変わっていくという事が分かりました。

「また必ず会おう」という言葉には、「今日、会える事ができて良かったです」というような意味があると個人的には、考えさせてもらいました。

人間というのはつながって生きていくことで一人の人間として、変わっていく生き物だということが分かるような映画だと思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

僕は「また必ず会おう」と誰かが言った。の映画を見て、人としてどうあるべきか、人の出会いの大切さがわかりました。田中さんの話では、他人の家で居候するときには、自分からその人の役に立つことをしなければいけないし、そのお礼をききたい、という意味がわかった。やぎ下さんの話では、港の人と、人の温かみを感じました。和也のために仕事を作って給料を渡していたので、とてもいい人だと思いました。和也もやぎ下さんにお世話になったので、病院にも、行きつけてあげたのだと思います。僕は、「また必ず会おう」と誰かが言った。の映画を見て、人のために動くことの大切さ、人の温かみがわかりました。これからは、人のために、自分から動けるような人間になりたいです。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

私には身内に見えるところではありませんが、脳に障害を持って  
いる人がいます。私はその人のことがとても好きです。でも、  
障がい者という響きからか、軽べつされたり、避けられたり  
して、普通の人とは同じ立場に立てていません。それは  
おかしい事だと私は思います。人は皆平等です。なので、  
今回バリアフリー上演だと聞いて、そんな人にも同じ  
環境を与えているということに、心が温かくなりました。  
そしてこの場がたくさんの人の寄付でできていると聞き  
、とても感動しました。

私は、この映画の原作も好きで、読みました。  
映画では、最後の結末が違っていましたか、自分が会  
ったとても心の温かい人達に言われた、「また会おう」という  
言葉を母親に言うよう言ったとでは、本当に最初の相也とは  
心が吹きこまれたかのように変わ、たなと感じました。  
自分にも人にも嘘をつかないで素直に生きる大切さがよく  
伝わってきて、テストに出てきた三期もあ、たのでなっかいいと  
感じられました。<sup>このように</sup> 柳の人生を輝かせたのは出会った人たちです。  
私も劇中に出て来た「一期一会、にならぬ、人との出会いを1回1回、  
大事にしていきたい」と思いました。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

私はこの映画を見て、和也があつた人が言っていた「また必ず会おう」という言葉は、人と人との出会いを、一回一回大切にしましよう」ということを伝えたか、たのだと思います。最初、和也と昌美さんとの出会いで、和也はあまりしゃべりたくはさそりだ、たけど、その後、多くの人と出会い、ことで、柳下さんが入院した時も身内の人に来るまで対応したいと思えるようになったのだと思います。そして、最終的には、「よりよい母親のところへ「また会おう」と言いに行くよりにまで」だったので、和也は人とのコミュニケーションをとることが上手になったと思います。この映画の中のよりに、現実も人と人が仲の良い世界になればいいなと思いました。

「また必ず会おう」の映画を見て

3組

カズヤが会った人が全員 厳しい人でもよかったです。じゃないかと思いました。でも、厳しいというのには、その人に強くなってほしかったり正しい生き方などを教えているので、厳しさは優しさとも言えるんじゃないかと思います。

もし、カズヤが優しい人達と出会って、その人達とずっと甘えていたら、カズヤは何も変わらず成長せずに、また、嘘ばかりついてたと思います。

人から学ぶことはたくさんあるなと思いました。

そして、それを行動に移していき、自分でその学んだことの意味がわかると、もっといいと思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

私は、「また必ず会おうと誰もが言った」の本を読んだことがありませんでした。この映画の登場人物のほとんどが、「さようなら」ではなく、「また必ずどこかで会おう」と言っているところが印象的でした。特に、かずやが最後、リョータに「また会おうって言えばいい」と説得した場面がすごく心に残りました。熊本に帰るまでのたくさんの人たちとの出会いの中で、いつの間にか、自分もそう思えるようになったんだと私は思いました。「また必ず会おう」という言葉の中には、「もうこの先ずっと会わないのではない、私たちがまた未来のどこかできっと会うことかたできると信じている。」という意味がこめられていると感じました。東京でスリにあわなくて、飛行機にも乗っていたら、こんなに素晴らしい出会いはなかったと思います。そして、学校で友だちにあんなにべらべら嘘をついていなかったら、東京に行こうとも思っていなかったと思います。地元を離れないと分からない、地元がとんなに良いところなのか、地元にはない分、人との関わり方を学ぶ改めることかたできたのではないかなと思いました。また時間があれば、教室の本を読んでみようと思います。私も、これから人生をかずやに関わった人みたいな人間性を持って生活していきたいと思いました。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

私は困っている人がいたら勇気を持って話しかける自信がありません。しかし、昌美さんは声をかけて家に泊まらせてあげていて、とても心の広い方だなと思いました。私だと見て見ないふりをすると思いました。なので、これからは心を広く持ちだれにでも優しく声をかけたりしたいです。いろいろな人に気を配れるような人になりたいです。人にしてもううためには、まず自分かしなければ人からはされないような気がしました。困った時は助けを求め相手からも声をかけられるような人になりたいです。今まで助けてもらった人に次は私が恩返しする番だと思いました。北川さんの方はまだあまり読んでいないので、この物語をきっかけにたくさん読んでみようと思いました。とても身近な尊敬する人物がいて嬉しいなと思いました。そんなすばらしい人に校歌を作ってもらってありがたいなと思いました。この物語が見れてよかったです。



## 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

この映画を見て、私は、辛い事でも、人生を大きく変えることがあるということと思いました。ちょっと嘘がきっかけで、たくさんの大人に出会い、成長していく主人公が見所だと思いました。出会った大人は、他人としては厳しい言葉をかけているなど始めは思いましたが、その厳しい言葉の中には主人公に対して「人生は楽しい事ばかりではなく、辛いこと、苦しいこともたくさんある」ということを伝えようとする愛や優しさがあり、私も共感できる点がたくさんありました。

私は、この映画から、人生とは、楽しいこともたくさんあるけれど、苦しみや辛いこともたくさんあるということや、色々な出会いがあることで、私の人生もこれから色々な大人に出会い、たくさんの学びがあると思います。それは、楽しみでもあり、少し怖くもあり  
す。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

この映画を見て私は驚いた事があります。それは、他の映画ではない視覚障害や聴覚障害の人でもおつうの人のように楽しめるように音声ガイドや字幕がつけられていた事。意外とテレビとかでは見ることができると、映画でしているのを見て事はありませんでした。障害を持っている人でも楽しめるように作られている素晴らしい映画だと思いました。「また必ず会おう」という言葉は私が思っていた以上に意味があり、人を動かす力があると思いました。一人でいて、近くに知り合いがいなかった時に、とても心にする言葉だと思いました。この映画を見て、私の考え方が少し変わった気がします。心の底から人にお礼を言う事や、100%の人になるためにはどうしたらよいか等たくさん事を学んだと思いました。また原作の本は読んでいないので、本の方も最後まで読みたいと思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

これから一度会えるかわからない、会えない可能性の方が高い  
と思うのに、またね、また会おう、と言うと、さようならよりも  
明るく聞こえる、心が軽くなるんだ"というのが伝わ  
ってきました。私も、さようならが言いにくいときは、  
またね、と言うようにしています。すぐとまた会えるから、  
さみしくない、と思えるので、暗い気持ちになりません。  
和也の撮った写真1枚、1枚が思い出となっていくのが  
心に残りました。

バリアフリーで映画を見させてもらえることがびっくりしま  
した。あと、障害者の人のために音声を入れたり、  
字幕を入れたりしていたことが優しいな、うれしいな  
と思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

私は、主人公と自分自身を重ね合わせて、映画を見ていました。私は、嫌なことがあたら、かくそうとしたり、ごまかそうとしてしまいます。そのようなところが、「和也」と少し似ているなと思いました。でも、「和也」は、いろいろな人と出会い、温もりを感じ、いい方向へと変わっていったのではないかと思います。私も、まだ一生のうちの少ししか生きていませんが、人生の先輩とも言えるような人に出会いました。著段はこわくて、厳しいというイメージでした。でも私が泣いて泣いている時は、はげしくてくれて、優しい言葉をかけてくれました。私は今でもその言葉は忘れていません。ずっと心に残っています。「和也」は、辛い経験をしていても自分のことではなく、周りの人のことを考えて行動をする人に出会うことができ、人生も変えることができたと思います。私は、人の温もりというのは、人の心を強くしたり、優しくしたり、大きく影響するものなんだと思いました。

私はこの映画を見て、人との触れ合い、出会いというのは、人生の中で、とても大切なことだと思いました。ただ、出会うだけでなく、その人たちから、どのようなことを学ぶのかも大事だと思いました。私も周りの人にいい影響を与えることができるおな人になりたいと思います。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3 組

私は映画を見て、こんな所をマネしたいなあと思いました。  
それは、見て見ぬふりではなくて、出会った全ての人に  
支えてくれて、言葉はきついかもしれなけれど、いさとい  
う時には、味方をしてくれて、私も、そういう誰かのた  
めに、時には注意したり支えられたらなあと思いました。  
そして和也がお世話になって、旅立つときにはいつも、  
「また会おう！」と前向きで、もう一度会えるんた-?あ  
という気持ちで、私は見ていました、困っている人が  
いると、口だけで済むのではなく、行動に移って、私  
がもし和也の立場なら、何か出来ることを探して、その人  
のために一生懸命に動きたいです。また私は、本の方で  
読んだことが無いので、教頭先生が最後は少い選う  
といわれたので、比へて、それぞれ感想を友達に教  
えてあげたいです。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

私は『また、必ず会おう』と誰もが言った。』を見て、旅をすることの大切さ、その旅の途中で新しく人と出会うことの大切さを知りました。

主人公が初めに会った空港の女性から、ただ行ったり帰るだけだとおぼえてしまう、いろいろな人と出会い、苦勞することによって一生忘れられない旅になるということを書いて、この言葉は心に残っています。何事もない旅だと、やっぱり楽しくないと思うし、一生残るような旅にはならないと思います。この物語のように、お金をとられて、飛行機に乗り遅れて、苦勞することによって、良い旅になると、私も思います。これが旅の大切さだと思っています。

旅の途中で出会った人はどの人も優しい人ばかりで、一番お世話になったと思う、トラウワの人も、おれそうにみえても、心は優しい人でした。旅を続けられたのも、この人たちのおかげだと思っています。これが人と出会うことの大切さだと思っています。

私も、これからたくさんの人と出会い、旅をしたいと思います。この物語のような旅ができるように、これからも頑張りたいと思います。

【中学2年生】

「また必ず会おう」の映画を見て

1組

僕は この本も映画も読んだり、見たりしたことが一度もなく、どんな感じなんだろう、ととても楽しみにしていました。

会話でおもしろいところもあれば、んー。と思うところも明々ありました。「まよなら」とは言わず「また必ず会おう」と、みんなが言う姿。そして、最後には主演の人も亮平に「また会おう」と言っているのは「うるっ」とくる何かがありました。

人と出会い、どんどん成長していく姿を見たB感動しました。見たもの感じたものを、心にぎざんておきたいと思います。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

組

すごくいい話でした。嘘ばかりついていて、最初は人のために何もできなかった少年だったけど、旅をしているうちにたくさんいろんな人に出会って、人のために自ら役に立ちたいとできる人になっていったのは、ほんが不思議なようで、すごいと思いました。旅をしている途中で、様々な人に出会い、そのひとりのひとりのから、学んだことがあり、ただの旅行じゃなくて、少年にとって忘れられない旅になったことにほんがうれしくなりました。出会った人との別れ際にあつた「また必ず会おう」という言葉に感動しました。みんな別れる時に言っていて、意味深い言葉で、すごくいい言葉だと思いました。おもしろくて笑ってしまう場面もいっぱいあったので、すごく見入ってしまいました。あと、最後の終わりが気に入りました。続きがありそうに感じて、すごい気に入りました。



# 「また必ず会おう」の映画を見て

1組

衝撃を受けました。うそばかりついていた少年が、旅をして、人と出会って、いくうちに、子供のために自分のお金を払えるおじになったのは、すごく衝撃を受けました。人は、出会う人によって人生が変わるんだなと思いました。人の家に泊まる時の対応が、勉強になりました。「相手の仕事をうらぐらいな気持ちで働きなさい」という言葉が印象に残りました。私は、やぎたん(?)に憧れてた!!と思いました。私が出会った人の中で、こんなに自由に楽しんでる人は、あまりないからです。すごくやぎたん(?)がうらやまかたです。誰も「さよなら」は言わなかったのが、かっこいい!!と思う。私も友達との別れの時に「またかな〜♪」と言って、いこうと思います。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

1組

このお話を、私は、小説でも、映画でも見たことがなかった  
ので、どんな話かとも楽しみにしていました。

この話では、「さようなら」とは、一度も言っていなかったと三河が  
感動しました。最初の、お母さんと死んでしまった男の子の話は  
もう会えないとわかっていても、「またいつか会おう」と言っている  
と三河が感動しました。そして、最後の、良平とお母さんの話は  
お互いを安心させるようとしてうそをついていると三河も、感動  
しました。そして、いろいろなと三河におもしろさも散りばめて  
あって、感動あり、おもしろさありの話でした。

私も、小学校の時の友達と「また遊ぼうね」と言って別れて  
います。それはこれから永遠の約束のような感じがしま  
した。そして、幼稚園の時の友達と「またね」と別れてまた  
中学校で再会できるとその約束が達成でまたようほ  
気がします。

それから、「さようなら」じゃなくて「また会おうね」と  
言えるように、私自身も心がけていきます。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

1組

まずはバリアフリー使用なことに驚き感動しました。内容は身近な出来事が多くてわかりやすく面白かったです。どの人もみんな心が優しく、いい人ばかりでした。それに最後の別れの時には「さよなら」ではなく「また必ず会おう」と言う所が一番心に残っています。このような別れの仕方があることを学びました。主人公が最初から最後にかけて、たくさんの人に出会い、その人たちにたくさんのお話を教えてもらっていてそれに素直に従う所がかしこいと思いました。そのおかげで最後は子供に教える側になっていたので素晴らしいと思います。今まで私が見てきた映画と全く違っていたので新しい考え方が生まれてきました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

組

今日、この映画を見て、人との出会いが  
どれだけ大切なのかを知りました。

私が特に心に残ったセリフは、

「人が言ってくれるのを待つな。自分で考えて

動け。」という言葉です。私も、少年と同じように、

人が言ってくれるのを待つときがあります。

見えて、自分に言われているようです。

これからは、自分で考えて行動できるように

なりたいです。少年が、旅の途中に会った

人たちの言葉は、どれも、とてもいい

言葉でした。テノストラの運転手のなぎ下さんも、

今を楽しく生きているようでした。

最初、心がかなく、うそばかりついていた少年が

自分から、人のために動くようになったのは、町の

温かい人たちに出会ったからだと思います。

私も、自分のことばかり考えるのではなく、相手のために少しでも

行動するようになりたいです。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

組

この映画の、最初はどうそについて東京に来た主人公が、いろいろな人と触れ合いながら成長して、最後に人に流されずに、柳下さんに恩返しをしたいという気持ちを正直に言った場面で、感動しました。

また、「必ず会おう」と言われている場面で、柳下さんのおいが、母親の家から帰ろうとしている時に、今まで言われていた言葉の、「また必ず会おう」を母親に言えはいいと教えている所で、主人公の人を思いやる優しさを感しました。

この映画を通して、困難に立ち向かうことの大切さを学びました。大変な場面にも直面してもあきらめないでいたいと思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

7組

私は「また必ず会おう」の本は今まで読んだことがありませんでした。映画を見て、成長していく主人公がすごくよかったです。始めは周りの人に甘えてばかりの弱ってきたのに、旅をしていく中で考え方が変わり、成長していく主人公に感動しました。そして、旅の中で出会う人々の優しさによって心が温まりました。どの人もみんな優しく、たとえその分温かい人は少なくて、とても愛を感じました。最後の方は中絶はんまなところで終わりましたが、きっと父や友人にうそを打ち明け、新しい自分を形成していると思います。ダメダメな自分を変えることができた主人公はすごいです。知らない用事で1人で乗り切った主人公は、きっと強くなっていると思います。私も、主人公のように強くなるきっかけを作りたいです。弱い部分があるので、さまざまな経験をとおして、立派な大人になれるようにがんばりたいです。きっかけがあれば、また本の方も読んでみたいと思います。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

/ 組

始め、たくやが友達にうそばかり言って、みえをほっているシーンを  
見て「ああ、自分もあるな。」とすぐ共感できました。でも、あんな小さな  
うそがこんなにも大きな出会いと旅を作ってくれたのだと思うと、  
すごいきせきのように感じました。

たくやは始め、何もかもあいまいで人まかせでした。でも、田中  
んや柳下さんなどのたくやの大人たちと出会い、自ら動き、自  
分をまかせない人になることができました。

私は今まで、「誰かがやってくれるだろう。」「別に自分は関係  
ない。」みたいな考えがありました。でも、「誰か、じゃなく  
自分が動かないとダメなんだ」と思いました。だから、たく  
やみたいにいろいろな人たちとの出会いがあるといいな  
あてはなく、自分から出会いのきっかけを作っていかなければ  
ならないのです。そうやって、私たちは大人に向けて  
成長していくのだと思います。きっかけは自然に生  
まれるものじゃない。自分で作っていかなければならな  
いのだと改めて気づくことができる素晴らしい映画でした。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

1組

私はこの本を読んだこともないし、映画も見たことないので、初めて見ました。喜多川さんの本はどれもいいが、私は特にこれがいいと思いました。

「また会いましょう」という言葉にとっても感動しました。知らなく、初対面なのにあんなに優しくしていただいていた、すごいなと思いました。今まで思っていた雰囲気とは違って、とてもいい印象を持ってました。本当はうとはだめだけど、この旅は、うとがあつてできた旅であり、うとがなかったらできていない旅でした。この主人公は、とてもいい人と出会っていて、とてもうらやましいです。私もこの映画に出てきた人みたいに、やさしくせたいと思いました。

この2時間、とても心に響いた2時間でした。これを見たきっかけに、心もいれかえてみようと思います。この、「また必ず会おう」と誰もが言った)を見て、とてもよかったです。



## 「また必ず会おう」の映画を見て

1組

今日は喜多川泰さんの小説の映画「また必ず会おう」を見ました。負けた嫌いですぐにはもう帰らないう香月和也が一人で東京に旅行へ行きますが、帰れなくなり、そこからたくさんの人に助けをもらい、自分自身のことにも反省しながら、新しい未来へと変えていく、とても感動的な物語でした。旅で出会ったいろいろな人が人間としてのあつちを生き、自分の道は自分で開いていくこと、一生懸命になること、そして人に感謝をすることなどを教えてくれました。それは少年にとっての一生心に残る思い出になりました。この経験が自分の未来を変えるきっかけにはなっているのではないかと思います。そして最後に、人を助けることができて、これまでお世話になった人々への恩返しができるように感じました。すぐ心が温かくなる、未来に希望がもてる作品でした。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

「また必ず会おう」という言葉でつなげられているストーリーがとてもいいと思いました。主人公がいろんな場所で、たくさんの人と出会い成長していく姿を見て、人との出会いは生きていく中でとても大切なことだなと実感しました。和也が友達にうそを1回いったらそのうそを気づかれないようにするためにまたうそをつかえいといけなから、うそを言いはよくせいとあつためて思いました。和也が出会った人はみんな初めて会った人にとっても優しくしているのを見てその人たちの温もりが感じられました。和也が医者に怒鳴っているところを見てとても感動しました。

「また必ず会おう」の映画を見て

2組

ぼくは「また必ず会おう」と誰もが言った。を見て、感動しました。ぼくはこの「また必ず会おう」と誰もが言った小説を読んだことがありません。小説ではとても感動し、最後お気持ちになりました。なので、映画ではほとんど感動がなかったら、小説とは、全ぜんちがってびっくりしたけど、映画でしか見れないおもしろさがあるよかったです。映画で一番感動したところは、最初の空港であと女性とわざとさんごところです。女性のところが相手になれなかったと思わせると、手紙をあるというところまで共感できました。わざとさんごの自由ということがわかりました。共感できました。小説とは全ぜんちがりました。映画は小説とは違っておもしろさがあるよかったです。

「また必ず会おう」の映画を見て

2組

僕自身、この作品は小説で読んだことが  
ありました。でも、映画には本にはないシーン  
が多くあったので、また違った雰囲気を楽し  
むことができました。

僕が一番印象に残ったシーンは、和也が  
柳下さんに、トラックの中でメガネをかけさせら  
れるところです。メガネを外したときに、柳下さんが  
話していた、「人のせいにするか、自分のせいにする  
か」という話が心に残っています。

確かに、「さようなら」と言われるよりは「また会お  
う」と言われるほうがお互いに少し気持ちがあ  
り、きりする気がします。僕も使ってみたいと思  
いました。そして、僕も和也みたいに何かのきっか  
けで成長できるようになりたいです。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

今日は、また必ず会おう逢見ました。和也が出会ったすべての人は、つめたいようでみんなやさしく、人のために役にたつとしてる人ばかりでした。途中、何度もおもしろいシーンがありました。ぼくも和也のまづにたまたま嘘をつくことがあります。和也は嘘をつくことの責任の重さを実感したでしょう。僕も嘘をつくときは、責任をとれるおとな嘘しかかかないようにしたいです。嘘は自分のためだけでなく、人をしあわせにするために使いたいです。真月とくはた北川さんの作品を読みました。その作品も今回の作品もどれも読者を人間として成長させてくれる作品だと思いました。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

僕は、この映画を見て、人とのつながりの大切さを知りました。友達についてしまったうそを本当のことにするため、和也は東京に行きます。そこで、九州に帰れなくなり、田中さんの家に泊まることになりました。

そこで、居候のし方や、人としてのマナーを教わります。次に、田中さんの夫に会い、どんなにつらいことかあ。でも、前を向いて歩いていく勇気が感じられました。柳下さんからは、どんなことかあ。でも、自由に生きていく大切さをしりました。どの人もみんな優しく、絶対に「さよなら。」とは言いません。「また会おう。」というのです。この人のような、自分だけの生き方を、これからの人生で見つけていきたいです。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

この映画は初めて見ました。実家に帰る  
お金がなくなった少年を色口な人が助けてくれる  
映画でした。旅中には様々な人との出会いが  
ありました。何かをしてもうするためには、おもてなしや  
何か良いことをしなければならぬと感じました。  
旅に出ることによって一期一会を感じられると  
思います。病気になっても人生を楽しむ豊かさ  
を感じました。主人公はやく家に帰りたいたいという  
思っていました。しかし、道中で出会った人に  
お世話になって恩をかえさないといけない  
という気持ちになりました。普段と違うことを  
することによって考え方も変わりそうです。社会には  
様々な事情を持った人がいることを改めて  
感じました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

今日、本も読んだことなく、初めて映画も見、けっこう今までのことも、考えたりできる映画だなと思いました。

初めにちょっとしたウリから初まった物語、だけと見栄をはって、くウリは、けっこうみんなついていたりする気はします。初めに会って家にどめてくれた人も、「そのまま帰ったら、おもしろくない」「自力で帰る旅の初まり」と言っていて、何もしないんじゃないかと、何かをして、それも思い出にしようと思っているのかなと思いました。トラックの運転手さんも、自分の失敗を若い人にしてほしくないんじゃないかと思いました。最後、末期がんだということから、だけと家族の方にも負担がかかり、自分の方にも負担がかかるから、旅に出てトラックでフラフラしていたんじゃないか、と思います。

今まで、自分もいろんな人に会ったりしてきたけど、また会おうなんて、自分と初めて会う人には、言えないなと思いました。ここに出てくる人は、全員何かを背負って、生きているのかなと思いました。

その人たちのように、たれかに何かを伝えられるような人になってみたいです。



## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

今日は喜多川さんの作品が実写化された映画を見ました。  
普段から少し嘘の多い和也が東京一人旅をして、そこから、  
様々な人との出会いを経て家に帰る、という流れは途中まで本を  
読んでいたのを知っていました。だけど、所々原作とは違った部分か  
出てきて楽しむことができませんでした。また、感動シーンの他に面白い  
ことも入っていたので見やすかったです。最初に出会った田中さん  
は酒によったら変な人になるけど「誰かのために自ら  
働きなさい」という言葉はすごく印象に残っています。  
また、亡くなった息子さんの年を数えて毎年誕生日プレゼント  
をあげるところに田中さんの優しさが表れていると思います。柳下さんは自分から話しかけておきか  
ら「食べなからしむるな」などとユニークなことを  
言っていたので面白かったです。他にも市場で出会った人た  
ちも人のために働く大切さなどを語っていて、すごく勉強になりました。  
また柳下さんの親見せきのゆうすけ君は親見せきに兼  
ねている母にたった一人向かいあって再会したシーンがとても  
感動しました。この映画で学んだことを忘れないで学校  
生活をすごしていきたいと思います。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

この映画はとてもおもしろいし、感動できるものでした。リョウへい君の一言一言はおこちゃまのものでおもしろいけど、たぶん、でも、その裏では母親との生活ができないという状態だったのがわかると思います。柳下さんとの出会いは本当に主人公の気持ちを強くしていたかと改めて思いました。自分だけの自由を手にし、アート・トラックで全国を走り回る旅はいいなと思いました。「また必ず会おう」という言葉は本当に良い言葉だと思いました。ストーリーにもあるように、この一言でみんなが変わりました。僕もこのように「自由」を手にして、いろいろな知識人にめぐりあってみたいなと思いました。映画と小説は最後のほうに内容が違うと聞いたので暇があったら、読んでみたいなと思います。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

私は「また必ず会おうと誰もが言った」を見て感動しました。原作を読んだことがありとても好きだったのでとても楽しみにしていました。映画は小説とは違っていたけど、おもしろかったです。和也が出会った人、みんなが言っている題名に入っている「また必ず会おう」という言葉と田中さんの「誰かのために働きなさい」という言葉が印象に残っています。デコトラのおいさんもユニーの事と喋っていて面白かったです。感動する話の中で面白いことも言っていたので、とても見やすかったです。この映画で感じたことを学んだこととこれからに生かしていきたいと思います。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

和也が嘘をついた事であ会えた人達だから私には  
嘘もいいことあるんだなって思いました。そして、出会った人は  
みんな共通点があるような気がします。それは、和也のことを  
どうにかしてあげたいとかじゃなく、自分が出来ることのヒント  
を手えてくれていたんだと思います。「さよなら」ではなく  
「また会おう」と言うことでこの出会いを1回で終わらせ  
ないところに感動しました。和也はこの旅を通して、とても  
強い少年に変わったと思います。旅のいいところは、  
たくさんの人との出会いがあることだと思います。私  
なら、一人で東京に行くことなどは出来なかなと思います。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

主人公の 和也は、はじめは自分からしゃべ  
ることはなかつたけど、トラップの柳下と行動  
を共にする様になって、だんだん自分の意見や気持  
ちを打ち明けていっていった。特に、柳下が倒  
れて、医者にしていこうと言われた時に、  
和也が自分の意見を言っている所は、目に見える  
成長だと思いました。変わっているけど人間の  
温みがある、いい大人に出あったことで、  
目に見えない、特別な物が得られて、「また必ず会おう」  
という言葉は和也自身の大切な言葉として、これから的人生に役立つ  
ものになると思いました。  
特に、クラスメイトとの付き合い方にモナを助けてい  
く自分を為すいたけど、素の自分を探る旅にモナ、た  
んじけなしかと思ってる。自分も一人で旅をして全く知  
らない人からたくさん学ぶことで、自身の人生に  
大きく関わる人間味あるものを、映画の主人公の様に  
得て大きくなりたかった。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

少年のちよとしたうそが原因で、旅する物語は、ときどきわくわくしました。少年のうそからいろいろな人との出会いがあり、よい経験をしたと思います。その出会った人から学びがたくさんのことがあり、少年に、お金の大切さや生きる意味を与えてくれたと思います。そこからたくさん人の経験を積んで、少年も、少しは変わったんじゃないかなと思います。この旅は、少年がついたうそが原因なので、ある意味よかったと思います。うそをつくことはあまりよくないと思いますが、たまには学ぶこともあるんだなと思いました。この物語は、これからの自分の人生に役立ち、将来について考えることができます。「また必ず会おう」の映画を見てよかったと思います。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

とてもおもしろかったです。私はトラ、7の運転手の柳下さんが好きでした。たくさん厳しいことも言っていたけどそれは和也への優しさであるのだと思いました。人生の先輩からの言葉は温かくて、どこかおもみのある言葉でした。いつまでも甘えてばかりでなく自立しなければいけないのだと思いました。旅をして行くにつれて成長していく和也の姿が印象に残りました。最後に九州にどのようにして帰っていったのか気になります。原作を読んでないので読んでみようと思います。友達が原作は映画のラストと違うと聞いたので、とてもきになります。これからの将来について考えていきたいし、私も自立したいと思います。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

自分の主人が「自分」＝「自由」という言葉が1番心に残りました。他人の目は「かり」気にしているというのはなんとなく縛られている感じがします。自分で自分につかえるということは全ての判断が自分に委ねられているということだと思います。人生で大きな判断をする時は自分でするのが1番良いと思います。そうすれば「もし失敗してしまったとしてもそれは自分の責任となり学ぶチャンスになる可能性もあります。しかし、その判断を他人にさせてしまうと、失敗してすぐに他人を責めることへとつながります。それは自分も他人も苦しい思いをなくてはなりません。しかし「自分」という心の軸をもつことで、他人に対する気配りもできるようになるのだと思います。



# 「また必ず会おう」の映画を見て

2 組

映画はとてもおもしろかったし、よかったです。原作を読んだので、大体話のあらすじは分かっていたんですけど、ちょっと映画と原作とでは少し話が違っていました。映画も原作とは違って良かったです。映画ではまた旅の糸巻きで終わっている感じでした。出会いは大事だぞと思うので、これからもう大切にしていきたいです。私は今までお金よりもずっと大切なものなんて考えたことがなかったので、何か3万円くらいかかるとか、人より先に動いて人の役に立つことだと言っていて、納得しました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

主人公の「和也」の会う人たちは厳しきもあり、優しきもあり、特に柳下さんはとても心に残った人です。病気でありながら旅をする彼は、国語でしている「握手」の話に重なる点が多く、分かりやすい内容であったと思います。「和也」は旅先で出会った人から学んだことは沢山あると思います。自分が学んだことを次に活かそうとする「和也」を、私は尊敬します。私はま、と出来たいと思うからです。「和也」の足りない部分を教えた人のような人に、私は出会いたいです。そして人の命の儚さや、心に隠れている思いを知り、人に感謝ができる人になり、感謝されるような人になりたいです。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

うそをついたことで旅に出て、たくさんの人に  
出会えたので、よかったなと思いました。出会  
た人は、それぞれなやみがあり、和也に出会った  
ことで少し解決していったのではないかと思います  
和也もたくさんの人と出会ったことで、自分の今ま  
での行動をふりかえり、改心していったところが  
感動しました。特に、トラックの運転手と出会ったことで  
和也は変わったと思います。お金より大事なものはたくさん  
あるということがとても伝わってきました。和也もお金を  
自分のために使おうとしていたけど、男の子のために使  
たので、改心したことがとても伝わりました。この映画  
から、人との出会いの大切さを学びました。私もこれか  
らは、人とのつきあひ方を考えていきたいと思ひます。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

私は、原作を読んでいるけれど、原作とは少し話が違ってまた新たな面白さがありました。この映画で人と人との出会いの可憐さを改めて実感しました。今の私もこれほど出会ってまた人の力かけでつくられている部分があります。前の自分より成長できたこともあります。きっと、そんな出会いはこれからもあると思います。それらに感謝し、その力を大切にできるほうの人になりたいと思います。

## 「また必ず会おう」の映画を見て

2組

主人公と自分が似ている部分があるなと思いました。主人公は嘘をつきます。学校の中で嘘をつきます。会話の中で嘘をつきます。それが私に似ていると思いました。

「東京はくさい」というところから始まります。見栄をはって来た嘘、それをばれないようにするために東京に行き、そこで出会った人たちの話なのですが、出会った人たちが全員いい人な人だと思いました。初めに会った人もその次に会った人もその次の人も皆「また必ず会おう」という言葉を伝えるのはすごいことだと思います。そういう人たちに出会った主人公が「どくどく成長していくところもおもしろかったです」。

見栄をはりたくてウリをついた時、知らないうちにあたかも知ってますというようなウリは自分の居場所を守るためだと思いました。

しかし、自分はまた何もしていないことに気がつきました。居場所ということにしほらぬが、自由にしようと思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

私は小説を読んだことがありませんでしたが、どんな話なんだろうととても気に打っていました。だから楽しみにしていました。映画に登場した人はみんないい人だと思いました。少しつき放すような言い方をしているけど、その中に愛情があり、とても感動しました。主人公は、なんとなくでうそをついていたけど、いろいろな人と出会っていくうちにうそをついているという二つを言うようになってすいと思いました。うそから始まった旅を通して、良い人達に出会って、主人公が変わっていく姿はとてもすばらしかったです。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

原作の小説とは、少し違いますが、映画のほうが良かったと思います。うさから始まる旅は、自分の人生を大きく変えるきっかけとなり、たくさんの人達との出会いも良いきっかけになる、とても良い作品だったと思います。

「さよなら」ではなく、「また必ず会おう」という言葉に感動しました。別れの時は最後に必ず「さよなら」というけれど、「また必ず会おう」と約束あることのほうが、良い別れだなと思いました。人とのつながりの大切さをあらためてしる事ができました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

私は佐野岳が好きなので、彼が主人公だと知って見る前よりずんずんワクワクしてました。

初め、私は和也のことがあまり好きではありませんでした。嘘をつくし、在議(?)を知らない人だったからです。でも、晶美さんや柳下さんなどと出会って少しずつ正直な心になっていく和也を見てとても感動しました。

なかでも好きなシーンが、末期がんを診た柳下さんで、迷惑そうに説明している医師に対して、和也が「人は死ぬ前に自由は奪われるのですか?」と反駁するシーンが泣きそうになるほど大好きでした。私も医師の言っていることは「おかしい」と疑問を持っていたので、すごく共感できました。



# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

人との関わりは特別で、大切なことだ、  
と思える映画でした。今回の、和也の工  
に、内面上を良く見せようとして、ウソをつくこと。  
きっと人間なら1回は、あるんじゃないか、と思  
います。私も何回か、あります。でも、私はいつか  
バレると思うと、怖くなって、おどろき本当のこと  
を言います。その時はモヤモヤするし、いやな気分  
になります。和也もそう思ったから、気分が悪くなる  
んじゃないかと思っています。私はまだ、たった2、3日  
あんまりたくさんの人と出会って、関わって、  
別れて... そんな経験をしたことがありません。  
映画を見ていると、スッキリするんじゃないか、と思  
います。「またかた」の本は読んだことないけど、  
これを其期に読んでみようかと思っています。  
悲しい別れや明るい別れ、いろいろあるけど、「また  
必ず会える」と思うこと。そんな出会い、別れって  
ステキだよね、って思いました。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

本で読んだことがあるという人も、何人かいる中、私は全く話の内容を知らなかった。ので、どんな話なのかと楽しみにしていました。旅先で色々な人と出会って、新しい考え方やなどを学んでいく事は、とてもよかったです。1度の旅で、たくさんのかたちを学んだ主人公は、これからの自分の生き方への考えがきっと良い方向へ変わっていくのではないかなと思いました。

あんな旅を、私もしてみたいなと思いました。次は、本でも読んでみようと思います。

「また必ず会おう」以外の喜多川泰さんの本も色々読んでみようと思います。

# 「また必ず会おう」の映画を見て

3組

和也が東京から帰れなくなったことから知り合いですらない他の人たちとの出会いを舞台としたこの映画。一見、何の関係もない出会いの連続なのに、和也にとって、自分を見つめ直す機会になったことがすごいところだなと思います。また、ウソばかりついて人の目が気になる

和也がたくさんの人と出会うことで、色んなことを学んでいく...というのはもちろんおもしろでした。しかし、もう一つ、私は印象に残ったところがあります。それは、「たてのつながり」です。いつも人の目が気になる = 「よこのつながり」を気にしている...ということ。私はこのような部分から、喜多川さんの講演会を思い出しました。「たてのつながり = 家族をしっかりとってこれば大丈夫。」という感じのお話をされたことがこの映画にもおぼろげに最後の方に

お父さんの「信じる」という言葉は見てるこっちも心強く感じました。講演会という貴重な体験と、原作の本を読んでいたことで、さらにこの映画の良所を深く感じることが

## 【中学3年生】

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 / 組

青い読んだことがなく初めて見たお話をしたか。とてもわかり

やすく作られ、内容が入りやすかったです。

主人公の青年は、僕らより2年上の設定ではありませんか？

これから高校生になる僕たちや、今の中学生と重なる部分が多い

多く感じられ、生きることについてすこく考えさせられました。

その青年は、いつも周りの人に嘘をついてばかりでしたが

出会う人を通して、最終的に、本当のことを両親に

言いました。そのとき、無口だったお父さんが信用してくれ

たことから、嘘はつかなくていいものがあることを学びました。

また、今まで嘘をついて見栄を張っていないと友達とよく

話を聞かせるような青年でしたが、最終的に家族に

信頼してもらう姿を見て、うそをつかなくても、人とうまくつなげ

周りの人に愛してもらえるということも学びました。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 1組

僕は本でも「また、必ず会おう」と誰もが言ったを読んだことがあったんですが、内容も違っていたのですが、両方とも面白かったです。映画では、全部の内容をおさめることができなかったみたいですが、最後のラストはみなさんの想像でみたいな感じで良かったです。人との出会いからたくさんのが学べるというのは、すごく難しそうだと思ったけど、すごく大切なことなのではないかなと思いました。嘘をなくすることも大切だと思うけれど、誰のためにもならない嘘は言てはいけません。人を助けるための嘘はこれから先の人生でも必要なものだと思います。この映画の主人公は自分が見栄をはるための嘘をたいたので、僕は人のためになるような嘘を言えるようになりたいです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 | 組

さびげない嘘から始まりました。この物語は、とても感動しました。主人公はたくさんの人々から学んでいく中で、徐々に変わっていき、感じるようになりました。僕はヒッチハイクとか全くしたことがないのですが、この映画で、たくさんの人々の優しさに気づきました。その人々から、たくさん学びました。助けしてくれた人たちの温かさや、困っている人がいれば、助けよう。うことを学びました。何かに人にお世話をしてもらったときは、僕も人の役に立つことをしようと思います。改めて、嘘をつくことが必ず正しいとは限らないということを学びました。僕も人生でたくさんの方のことを学びますが、主人公のように何か大切なことに気づけたらいいなと思いました。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 1組

私は一度、この本を読んだことがありました。本の内容とは少し違、てまたおもしろかったです。主人公の和也が多くの人と出会いながらたくさんの経験をしていき、変わ、ていく姿に感動しました。和也の何気ない嘘から始まったこの旅は和也にと、てかけがえのない経験になったと思います。私がこの映画で心に残ったのは製作が和也に眼鏡をかけさせた部分です。「なぜずとかけ続けているのか。」という問いでの「誰かに言われてやらされるより自分自身でやった方が後悔する」と言った場面で私は共感しました。また「さようなら」ではなく「また、必ず会おう」と言ったことに対しても人とのつながりの大切さを感じることで、きました。少し私は本の方が好きだとも思いました。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 1組

小説は読んでない状態で映画を見ました。  
主人公は中身の無い0点の人と言われて、ショックを  
受けていましたが、それを言ってきた女性の未完成  
さをまのあたりにした時の方が辛かったらう  
なと思いました。散髪屋さんの人は素直でいい  
人だなと思いました。デコトラの人は主人公にか  
なり大きな心の変化を与える役割だっただけあ  
って最後まであきらまじに自棄状態に陥らなかった  
です。信念を持った強い人だなと思いました。

主人公が、デコトラに乗っている時に、自分は空っぽの  
人間だと言っていたので、中身のある人になるというのが  
この物語の主題だと思っていたのですが、決定的な  
シーンは映さず、最後があまりに短かったのが少し  
残念に感じました。



「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 2組

最初は、友達や親見にうそをついてば、かりだ、た主人公の香月禾口也がいろんな人に出会って、真面目な青年に変わっていくところが、すごくおもしろい。た。です。僕は本の方も読んでいたのですが、本とはところでころ少しちがって、そのちがいをみつけていくのも楽しかったです。また本を売ってない人には紹介したいと思います。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年2組

僕は今回の映画をみて、主人公の心の成長に感動しました。始めは、みんなにうそばかりついて現実から逃げていたのに、様々な人から人生で大切なものを学んでいくうちに大きく成長していく姿を見て、僕も、自分自身を見つめ直し、生きていかねければならぬと思いました。また、原作の本とも少し内容が違って驚きましたが、原作にはなかったある小学生との出会いが、いさいさと書かれていておもしろいと感じました。今回の映画は、自分の人生について見直すことができる絶好の機会だと思います。このことをこれからの人生のなかで生かしていきたいです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年2組

この映画を見て気づいたことは、  
自分の空っぽの部分を嘘で埋める  
のではなく、自分が経験して  
学んだり、感じたりしたこと  
で埋めていくことにより、満足  
感を満たすことにより、  
自分の人生を嘘でつくり出す  
ことなく自分に正直に生きる  
ことで楽しく生きることが  
できると学びました。  
また自分の主が自分である  
ということが「自由」である  
と学べてとてもよかったです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 2組

校歌の作詞をしてくださった喜多川さんの原作の映画ということで楽しみにしていました。映画を通して伝えたいとはよくわからなかったけど、これから自分で様々な経験をして、後からふりかえって理解できるようにしたいです。一人で旅をしてつかむものがあるように様々な経験を通してつかむものがあると思うので、様々な経験をしていきたいです。全力で生きた人にはそれなりの結果が来ると思うので、必死にがんばっていきたいです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年2組

「また、必ず会おう」と誰もが言った。は2年生のときに本を読んだことがあって、映画ではどうなんだろうと思って期待して見ました。映画は原作と所々違うところがありました。小説では表すことのできない、その場の場の風景や景色を見られたのが良かったです。またかなの映画を見て、原作の小説を見たいくなりました。喜田川さんの他の小説もまた読んでいなり本があるのでそれらを読んで見ようと思います。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 2組

喜多川さんの本を一度も読んだことがなかったのに、見字のE  
すごく楽しみにしていました。さまざまな人との出会いを  
通じて成長していく主人公の姿に感動しました。

主人公のまわりの出会い、た人々はとても優しい方が  
多く、ちょっと非現実的だなと思いました。

旅に出ることであうものも変わるけど、

得ることの方や、新たな発見もあるのだなと  
思いました。“さようなら”とではなく

“また必ず会おう”と言うのも良いなと思いました。

これから、たくさんの人との出会いを通して

新たな発見をしていきたいです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年2組

私はこの本を途中までしか読まなかった  
ので、すごく楽しみました。東京にすることを  
素直に言えないのは私も同じだと思います。  
人にうそをついた後、いつも罪悪感  
が残るのも改めて実感しました。正直で  
あり続けたいと思う人が多いと思います。  
このDVDを見て、たくさんのことを学ぶ  
ことができました。

自分の人生について考える機会が  
でき良かったと思います。

出会う人、みんなに感謝して  
いきたいです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年2組

やぎしたさんの「自分の主人は自分、それが自由だ。」  
その言葉が一番心に残りました。自分を決める  
のは自分。だからこそ、自由であり責任があるんだ  
と思います。初めは、うそばかりの中身のない和也だ  
けど、たくさんの人と出会いと別れを繰り返した中  
で得たものは尊いと思います。変わっていく  
和也。出会ったたくさんの人々から学んだこと  
忘れないうちでおきたんです。私もこれから先を歩  
いていく中で、たくさんの人と出会いと別れを繰り返  
す。その時「サヨナラ」ではなく「また、会おう」  
そう言って、いい表情で前に進みたいです。原  
作を読んだことかなので、読みたと思います。  
またいつか、この映画を見た時に、自分が  
どう感じるのか楽しみです。私も色々なことを  
様々な人から学んで成長していきたいです。



「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年2組

主人公が旅を通していろいろなことを学んだのが印象に残りました。自分が先に行動を起すことが大切だということがわかりました。デコトラの運転手の方が主人公にうそに迫力がなくうその中で生きる覚悟がないならうそをつくなと説教したところが心に残っています。主人公がうそをついたことから始まった旅から主人公は多くのことを学び、自分と向き合い成長していったのだと思いました。主人公が出会った人からそれぞれ多くのことを学んでいたので人と触れ合うことの大切さを知りました。人と関わることで人は変われることを学びました。また、ありのまま生きることも大切だと思いました。この映画を通していろいろなことを学べたので良かったです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 2組

原作読んでおけば良かった…。かずやがまだ見栄、張りの

阿呆だったところまでしか読んでなかった。かずやは本当に

現代の高校生ってかんじで分かりやすく流しれやすく。

でもこの旅で、だいぶ成長したと思う。けど、まだ成長

の余地がある。というか成長は無限大。

旅に出る時のかずやと、家に帰った時のかずやは

別人だろうな。

旅先で出会った人たちはみんな個性豊かで、芯が強かった。

みんなそれぞれ生きてきた中で、沢山の苦悩と喜びを

感じてきたんだだろうな。40～60年生きてきて学んだ

ことを数日間で教えて貰ったかずやはラッキー

だなあと思った。

別れの時、全員が「また会おう」と言っているのが

印象的だった。また、あえて旅の終わりを見せない

ことで、明日も旅は続くんだというワクワク感があった。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 3組

ぼくは、この「また、必ず会おう」と誰もが言ったという映画を見る前に原作である本を読んでいた。一度本を読んでいたの  
で映画も本とそこまで変わらないだろう  
と思っていました。でも、いざ映画を見  
ると本の内容と全く違って、一度  
本を読んでいた僕でもとても楽しむ  
ことができませんでした。それに本でも  
映画でも人生において大切な  
ことを学ぶことができませんでした。  
この映画を見ることができて  
本当によかったです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年3組

僕はこの映画を見る前に本を読んだことがあったので、本にあって、映画にないものを探するなど、比較しながら見ることができました。僕はいつも本を読む時に、登場人物の顔を想像しながら読んでいますが、自分の想像と違って、おもしろかったです。本では、警察官の人や医者の人も良い人として出ていますが、映画では、そんなに出ていなかったの、残念では、元を問わずにありのままの自分で生きていくと思いました。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年3組

私はこの話を今日初めてみました。主人公  
がいろいろな人に出会ってから少しずつ  
変わっているように感じました。旅の途中ま  
で話が終わってしまったので、その後ど  
うなったのか気になりました。「また会おう」  
と言って別れた人たちとも会えるのか気にな  
りました。友達が「原作と少し違ってリ  
た」と言っていたので原作も読んでみた  
いと思いました。また、喜多川さんの他  
の作品も気になったので、読んでみた  
いと思います。私はやぎ下さんが一番  
好きでした。自分の好きなことを自由に  
しているところが良かったです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年3組

僕は、今日初めてまたかなの映画を見ました。原作の小説版とはまた異なるまたかなが見れて良かったです。正直にいうと、登場人物の誰とも考えが合わなくて、共感ができなかったのですが、異なる人生の価値感が知れて、良い経験になりました。柳下さんのトラックに乗せられて、一万円をとられ漁場で働かされるというのは、僕であればすぐさま逃げだしています。僕は、プライドが高く、心が狭いので、他人の言うことに耳を傾けないことがあるので、それをしっかり自分に取り入れて、活用させていくというかしこさを手に入れたいです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 3組

私は、中学校1年生の時、読書の本を忘れたのとき、  
かげに、この本、そして喜多川さんに出会いました。喜多川さんの  
作る本は人との出会いの大切さを書いていることが多く、  
すぐに私は喜多川さんの作る本が大好きになったのを今でも  
覚えてます。この本、そして映画では、たくさん人の考え  
方、そして生き方を教えてくれます。私は人と出会うこと  
によって人は変わるのだと改めて感じました。何かあっても、  
それを自分を変えるチャンスにすることによって大きくなる  
のだと思いました。そして私も人との出会いに感謝し、  
大切にしなければいけないと思いました。今回、この『またか』  
が映画化されていると聞き、すごく嬉しか、たです。映画  
では本ではわからないことをたくさん知れておもしろかったで  
す。また、映画では描かれていなかった最後の場面を  
見たいです。これから様々な本と出会い、そしてたくさん  
のことを学んで立派な大人になりたいと思います。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 3組

私は、この作品の原作の小説を既に読んでいたので、それと比べながら見ると、ところどころ違うところもあったのですが、こちらのストーリーも私は好きでした。やはり、小説では表現できない人物の表情や間などがあるため、より鮮明に和也の気持ちが伝わってきました。私がこの作品の中で良いなと思った場面は亮平を母親のところまで送るところです。原作にはないので、この旅によって和也が成長した様子が一番見られるところだと思いました。また、小説を読み返したいなと思いました。



「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 3組

今日は、「また、必ず会おう」と誰もが言った。という映画を見ました。私は小説を  
読んだことがあったので、いろいろとそうぞうが  
でき、また映画にはない映画のつづきか  
どの様なものが考えることにもなりました。  
この映画はバリアフリーだったので  
副音声がつけました、私は副音声がつけた  
映画をみるのが初めてだったので、  
とても新鮮でした。目をつぶって  
きいてみて、どのくらいこの副音声が  
有意義なものか、考えてみたいです  
また、他のバリアフリーの映画作品も  
みてみたいですね。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 3組

私も、主人公と同じように友達などの相手の気持ちを気にして  
しまうことがあります。ただ、何とか生きるのではなく、相手に何か  
をしてもらうのではなく自分の力で、生きたいと強く思いました。  
私は何かあたら両親がどうにかしてくれる。と思い、両親に甘えて  
ばかりだと思いました。自分の生き方についてもう一度考えなおします。  
この映画が始まった時と、終わった時で、主人公の心が大きく  
変わったと思いました。たくさんの人と触れあっていくことで、主人公の  
心は変わりました。親には本当のことが言えず、友達には嘘をたく  
せんつき、自分が楽に生きれるように主人公は過ごしていました。し  
かし、出会っていく人に自分の力で生きることなどを学んだのだと  
思います。そして、「サヨナラ」を言わずに、「また、必ず会おう」  
と言うことがどんなに違うかとても考えました。「また、必ず  
会おう」と言うことにより、明るくその場を離れることができます。  
これから出会う人、ことに全力で立ち向かい、「また、必ず会おう」と  
言いたいです。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年3組

私は『「また必ず会おう」と誰もが言った』を観て、人との出会いは貴重であり、教員の人との出会いが様々な教え、とても心に響きました。特に心に響いたのは、人にかせ話になる前に、まずは自分自身掃除や食器洗いや、相手へ手を出さないくらいに、とことん行動することです。時々、私も祖母の家へ泊らせてもらっていました。でも、私は自分から行動せず、ただじっと座ってばかりでした。今日、この映画を見て、少しは泊らせてもらった相手へ祖母であっても、相手へ行動してないくらいに自分へ行動すること、とても大切なことだか、と思いました。

それから、教員の人との出会いが私にもあります。一人一人との出会いを大切に、出会った一人一人に「また必ず会おう」と言いたいな、と思いました。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年3組

毎回写真を撮っていたのが気になっていま  
した。最後に写真のスライドショーが  
あったので、それまでにたくさんの旅を  
したことがよくわかりました。あの写真を見れば、旅で会った人や訪れた場所の  
ことを思い出すことができると思  
います。旅で会った人は全員、生きてい  
く中で大切なことを教えてくれました。  
特にやぎしたさんは、言い方はきついけど、  
その中に優しさがあると思いました。この  
映画で学んだことをよく考えて、これか  
らの生活にも生かしていきたいです。

また、この映画は家に着く前に終わった  
ので、続きも見たいです。さ、と、また全員  
に会いに行くとおもいます。

東条アパート

↓

・息子にプレゼント

↓

やぎしたさん

じいさん  
病院

↓

母親の家

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年3組

和也が出会った人々は、全員個性があつておもしろかつたです。いろいろな人と会うことで、和也が少しずつ成長していつてることが理解できました。ほくも、いろいろな人に嘘をついてしまうことがあるので、相手を傷つける嘘はつかないようにはしています。また、和也のように、ほく自身も成長したいと思ひます。さらに、和也が会った人々と同じように、ほくの身にいる仲間たちもみんな素晴らしい人々なので、五年後や、十年後また会えることを望みます。当たり前の日常がいつまでも続くとは限らないけど、できる限りみんなと一緒にいたいと思っています。

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

3年 3組

僕は、この映画を見て原作とは扶養のおもしろい  
あると思いました。飛行機を乗り遅れたことから始まり  
田中昌実さんから教えられたいろいろな仕事、秋山さ  
んの優しさ、柳下さんの教え、いろいろなことに感動  
しました。きくと嘘をいつかしていた彼は嘘をつかなく  
なると思います。また原作とは全く違いました。警察  
の本田さんばかりでいなくて寂しかったです。主人公が  
熊本までついていけたのでもう少し長い映画を見た  
かったです。映画ばかりであたしとの出会いを自分でも  
体験したいです。またこれからあつとの出会いを大切に  
いろいろなことを学びたいです。